

研究所だより 7月号

くろしお

発行:黒潮町教育研究所
 幡多郡黒潮町佐賀1092番地1(黒潮町教育委員会内)
 Tel 0880-55-3190 Fax 0880-55-2851
 Email: kuroshio-l@kochinet.ed.jp
 URL: http://www.kochinet.ed.jp/kuroshio-l/

1学期も終業式を目前になりました。先生方は、終業式が終わると、加力学習・水泳指導・研修が始まることと思います。暑い中、体調など崩されないよう、体調管理に気をつけてくださいね。

第2回学力向上委員会(オープン講座)報告 6月1日(水) 田ノ口小学校

授業 複式の授業 4年生「面積」 5年生「小数のわり算」

講師 高知大学附属小学校 高橋 真 先生 講演 算数科における複式の指導について

1学期の研修会には、たくさんの先生方に参加していただきました。ありがとうございました。6月の田ノ口小学校でのオープン講座には、校内研として参加していただいた学校も多く、町内外を合わせ、70名を超える参加がありました。

アンケートより(感想を一部掲載します。)たくさんの感想・ご意見をいただきました。ありがとうございました。

【授業について】

- ・複式も担任してみたいと思いました。
- ・複式の授業は、指導のリズムがとても大切だと感じました。直接・間接指導のタイミングを大切にしたりリズムのある授業でした。
- ・子どもが主体的に取り組める活動を、上手に仕組んでいるなと感じました。教え込むのではなく、子どもたちに見つけさせ、考えさせる中で、子ども同士が学び合っている姿が見られました。また、それぞれの学年に関われる時間が半分しかないという複式の難しさも感じました。学年の中でリーダーを育てること、日頃の学級づくりの重要性も改めて感じたことでした。
- ・高橋先生の立ち位置、子どもたちへの適確なことばがけ、色つきボードの活用の仕方等、学ぶことができました。
- ・4年生の面積の授業が、よく仕組まれていると思いました。準備された図形を使って、あれこれ楽しそうに考えていたと思います。
- ・児童が思考活動するにあたって丸投げではなく、そこに至るまでの丁寧な手立てや言葉がけ(支援)があり、単式の学級でも活用できる内容でした。

【講演について】

- ・単式学級でも、子どもの主体的な学びを創っていくために「信じて任せる」や「一人ひとりに出場をつくる」ことが大切。
- ・関わりあえる集団、学級作り、大切だと(改めて)感じました。(教師と児童との信頼関係)
- ・教師がより高いものをイメージしていないとダメだということ、上手な発表をほめていくことが子どもを成長させる等、たくさんのことを教えてもらいました。
- ・「子ども達に任すこと」「大切なワードを聞きもらさずに評価し、意欲につなげさせること」複式授業における学習のスタンダード(ポイント)を学ばせていただいた。
- ・授業作りのポイントで、子どもに任せていくこと!、教師の出場は2つ!で子どもだけで取り組める活動で授業を構成すること。教師は全て自分で教えてあげようとするが、「自分達で考えさせること」が活動の中心になると、学力テストも伸びる気がするし、中学、高校へと生きる力につながる気がします。
- ・課題を解決するにあたっての、ポイントとなる言葉を教師が持ち、その言葉が子どもたちから出てきたときに印象に残るようにすることをしていきたいと思いました。また、共学びができるよう、手引きとなるものが参考になりました。ただ、共学びができるようになるための学力を身につけることも必要だと思いました。



【その他】

- ・「なぜ、この授業構成にしたのか」それについて話していただいたら、もっと勉強になったと思います。
- ・「めあて」児童が本時何をするのがこの問題を解く中で、何を身につけるのが4年生の板書や流れでは分かりにくかったので聞きたかったです。見通しや流れが見えるようにする工夫も伺いたかったです。
- ・本校でも、学習リーダーが活用でき、自己決定・自己存在感・共感的態度を伸ばし、学力向上につながる校内研修の充実に努めなければと、改めて考えることができました。
- ・授業の様子を、ステージにプロジェクターで映し出すと良かったと思いました。

「平成28年外国語活動学習会」アンケートより 平成28年6月日（月）

【入野小学校6年生】

【大方中学校1年生】



平成28年度 外国語学習会 アンケート（6月28日）

授業について

- ・小学校では、ゲームや練習で子ども達が英語を使うことはあっても、英語を話す必要のある場面で会話として話す経験はあまりないですが、今日の授業の中では、子ども達が自然に英語を使うことができていたと思います。生活の中で使えるように、シチュエーションの設定が大切だと思いました。
- ・小中学校の授業を参観することができて、とてもよかったです。両学校とも、子ども達が楽しそうに授業に参加している姿が印象的でした。兼重先生が言われていたように、同じコミュニケーション場面の授業だと、さらに、小中とのつながりが見えてくるのではないかと思います。

小学校

- ・児童が活発に activity をしている姿をみることができました。英語の記述なしで質問ができていたので、HI.FRIENDS の内容が定着していることが分かりました。
- ・参加型の授業だったので、子どもたちもあまり緊張なくできていたと思います。
- ・友達同士で話し合ったり、先生に聞いたり、これまで使ってきた英語で学習しようとする姿が印象的でした。
- ・楽しい雰囲気作りで、子ども達の気持ちをほぐすことから入り、子ども達が会話する中で、英語と親しんでいることが見え、勉強になりました。

中学校

- ・中学校では、How many～？ DO you have？ の内容に入るときに、劇を利用して、生徒もみんな楽しんで見ていたことと、内容が入りやすく、興味を持てるので、とても良いと思いました。
- ・ちょっとした劇もあり、流れもよくたいくつしない授業でした。
- ・中学校の生徒も、ほぼ全員が意欲的でした。中学生でもあんなに、楽しく学習できるんだなと思いました。

講演について

- ・これからの英語教育の方向性が伺えました。小学校でもこれからは、文字なんだと思いました。
- ・音と文字との関係性の大切さや、補助線の必要性など教えていただきました。
- ・小学校と中学校の連携について現状を知ることができました。小学校で何を勉強しているのかを知り、文字指導の重要性を知ることができました。
- ・音韻識別能力を意識して、phonics（単語の読み方の学習）などの定着を1年生のときからできたら大きな力になると分かりました。
- ・分かりやすく話をしていただいて、勉強になりました。外国語はさけて通れない道なので、教師も少しずつ慣れていけたらと思いました。中学校とのつながりも気をつけて行きたいです。
- ・これからは、小学校でも「書く」活動を取り入れていく必要があると感じました。少しでも、英語への関心を持てるように小学校でも取り組んでいかなければならないと思います。
- ・中学校で「書くこと」の活動が入ることで、また、小学校とは違った難しさ、しかし、小中連携することの大切さを学びました。

その他

- ・普段、中学校の授業しか見ないので、小学校と中学校の連携について知ることができて、とても勉強になりました。

大変お忙しい中、会場校を引き受けてくださった入野小学校・大方中学校、そして、雨の中参加してくださった先生方、本当にありがとうございました。